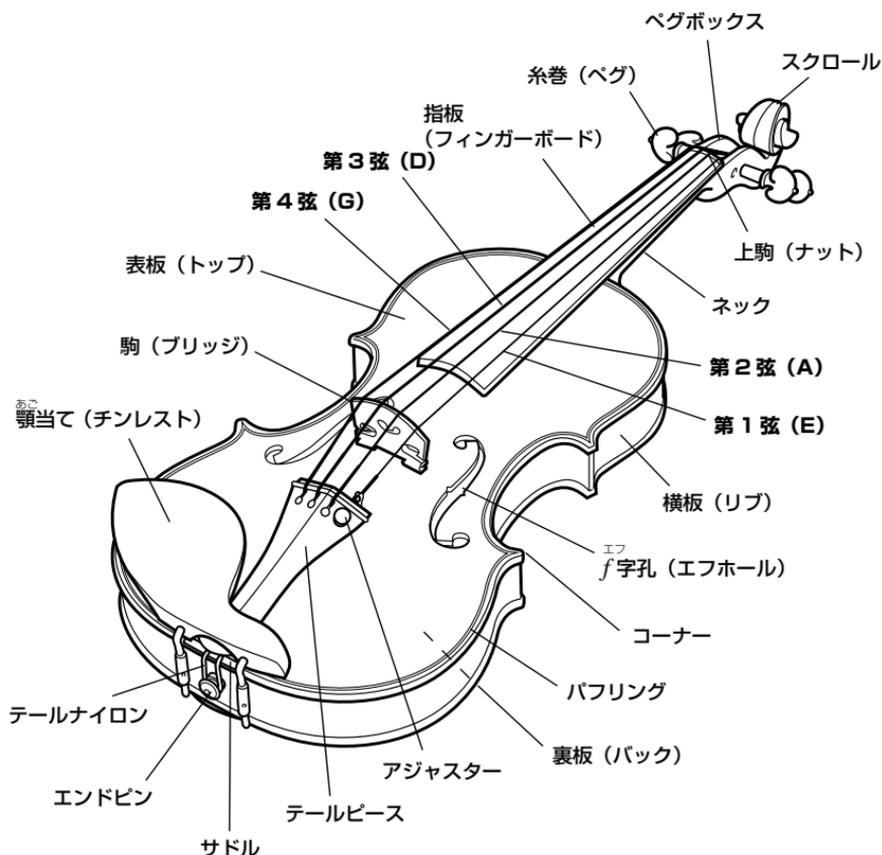


このたびは、ヤマハバイオリンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。優れた性能を十分に発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

### バイオリンの各部名称



※ 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

## 安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ■ 記号表示について

⚠ : 「ご注意ください」という注意喚起を示します。 ⓧ : 「～しないでください」という禁止行為を示します。

### ⚠ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

ⓧ 物をぶつかけたり、落としたりの乱暴な取り扱いにはさけてください。

⚠ バイオリン本体および弓は、屋内に限定してお使いください。

⚠ 楽器のお手入れの際は、柔らかい布で乾拭きしてください。

ベンジンやアルコール、シンナーは使用しないでください。また、スプレー式の殺虫剤を近くで使わないでください。外装に傷がついたり、変質するおそれがあります。

⚠ 温度・湿度などの環境に注意してください。以下の環境は、楽器の性能に悪影響を与えます。十分注意の上、ご使用・ご保管ください。

- ・直射日光の当たるところ
- ・温度が特に高い場所、または特に低い場所
- ・湿度が特に高い場所または低い場所、ホコリや振動の多い場所

ⓧ 車の中に放置しないでください。夏期や真冬時の温度下では、バイオリン、弓の品質が著しく悪化します。

⚠ この製品は、出荷の際に最適な状態に調整されています。

調整に技術が必要とする部分もありますので、調整が必要なときは、なるべくお買い求めのお店にご相談ください。

ⓧ 改造しないでください。保証の対象外となるばかりでなく、修理ができなくなるおそれがあります。

ヤマハバイオリンの塗装には、音響特性に優れた良質なオイルニスが使用されています。オイルニスは塗膜が柔らかく、高温・高湿の環境下でさらに塗膜の軟化が進んだ場合、ケースの布目などがバイオリンに付いてしまうことがまれにあります（耐久性および演奏性能上は問題ありません）。高温・多湿を避けて保管してください。また、楽器使用後は柔らかい布でくもりや汚れを拭き取り、きれいな状態を保つように心掛けましょう。

アジャスター、あごあての金属部品などのメッキ仕上げのアクセサリーは、メッキの性質上、時間が経過すると表面が変色する場合がありますが、演奏には何ら支障はありません。なお、初期の変色部分はお手入れによって簡単にきれいになります。（変色の進行したものは、きれいにならない場合があります。）

本製品の部品には天然木が使用されていますので、ご使用の方法や環境によっては、手や身体、クリーニング用の布が黒ずんだり、木製部品が変色する場合があります。身体に着色しても害はありませんが、十分水で流してください。衣服等の黒ずみ、木製部分の変色に関しては保証いたしかねます。

### 音のエチケット

美しい演奏は人にさわやかな感じを与えますが、練習中の音は時には気になる人もいらっしゃいます。ご近所の迷惑にならないように気を配りましょう。

## ■ バイオリン本体に関するご注意

バイオリン本体は、天然の木（スプルース、メイプル、黒壇など）を膠で接着して作られています。そのため、急激な温度や湿度の変化により接着はがれが生じたり、調弦、演奏がしづらくなったりする場合があります。使用する場所や取り扱いには充分ご注意ください。

- ・ 夏・冬は楽器全体が室温に慣れるまで待ち、それから演奏をはじめましょう。



注意

- ・ 弦の交換や調整の際に、顔を楽器に近づけないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つける場合があります。
- ・ 弦の交換は1本ずつ行なってください。4本とも一度に交換しようとする、駒が倒れたり、テールピースがはずれるなど、思わぬトラブルの原因となります。
- ・ アジャスターで調弦する場合、アジャスターを締めすぎたり緩めすぎたりしないでください。本体を傷つけたり、演奏時の雑音の原因となったりします。

## ■ セット商品、付属品に関するご注意

- ・ セット品には、以下の付属品が含まれます。

弓・ケース・松脂

- ・ 付属ケースに湿度計が装着されている場合：この湿度計表示は絶対的な精度を示すものではありません。バイオリン管理の目安としてご使用ください。

## ● 弓について

- ・ 弓は、付属品の松脂を弓毛に塗って使用します。弓全体に平均に程よく塗ってください。（初めて塗る場合は多めに塗ってください。）
- ・ 使用しない時は、必ず弓毛の張りをゆるめてください。（下図）

ネジ部を回して弓毛の張りを調整する



- ・ 楽器をケースにかたづけの際、弓の毛は十分にゆるめて保管してください。
- ・ 付属の弓以外の弓をケースに収納する場合、弓の長さにご注意ください。



注意

- ・ 弓は、人や物に接触すると危険な形状をしています。演奏時には、隣の人、物などに当たらないよう、十分なスペースをとってください。また演奏時以外に振り回す、投げるなどの危険行為は絶対にしないでください。

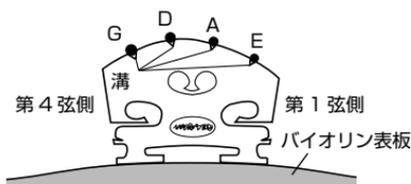
# 演奏準備

## ■ 駒の確認について

出荷時、駒は表板の上にセットされ、最適な状態に調整してあります。

まず駒が正しく取り付けられているかを確認した上で、調弦してください。

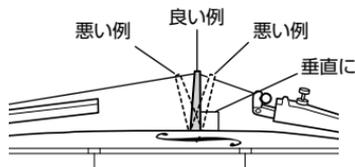
- ・ 駒には、弦と弦の間隔が最適になるように、4つの溝が形成されています。それぞれの弦が、下図のように駒の溝に収まっていることを確認してください。



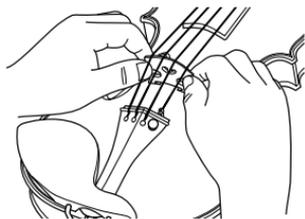
【テールピース側から見た図】

- ・ 駒は、テールピース側の面が表板に対して垂直になるように立ててください。傾いている場合は楽器を安定した場所に置いてから、弦を少し緩め、両手で起こしてください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まっていることを確認してください。

\* 駒が傾いた状態で使用すると、音質の劣化や駒の変形、破損のおそれがあります。

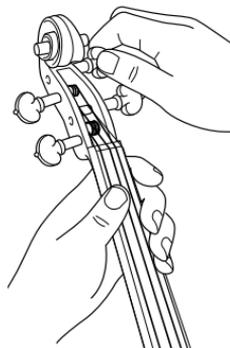


駒のテールピース側の面が表板に対して垂直になるように、駒を立てます。



## ■ 調弦について

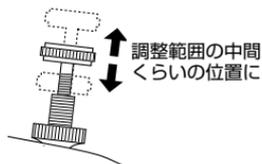
- ・ 調弦は、第1弦がE音、第2弦がA音、第3弦がD音、第4弦がG音です。ピアノや音叉、チューナーなどの音に合わせて、糸巻またはアジャスターを回してチューニングしてください。糸巻は軽く押し込みながら回します。
- ・ 調弦後、駒のテールピース側の面が表板に対して垂直になっていることを確認してください。傾いている場合は弦を少し緩めてから、駒を両手で起こしてください。



# 弦の交換

## ■ 弦を取り付ける前に…

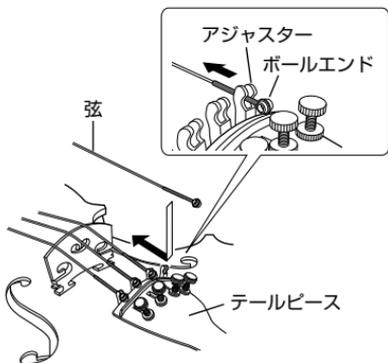
弦を取り付ける前に、アジャスターを調整範囲の中間くらいの位置まで回しておきます。



## ● 各弦にアジャスターが付属している場合

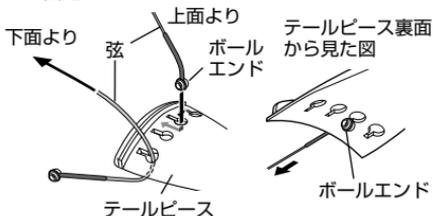
[サイズ 4/4, 3/4, 1/2]

テールピースのアジャスターの溝に弦のボールエンドがはまるように、弦を通して引っ張ります。

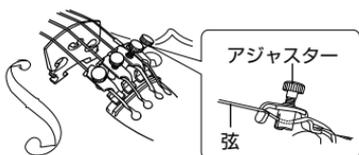


[サイズ 1/4, 1/8]

テールピースの穴に弦のボールエンドを引っかけて固定します。

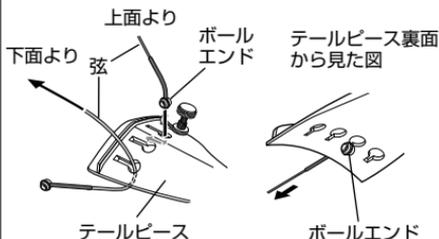


弦をゆるめに張り、下図のように、アジャスターを弦に取り付けます。

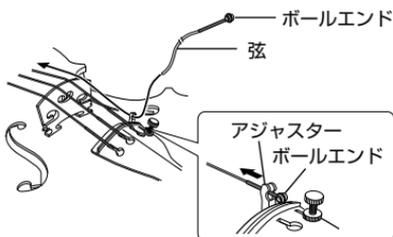


## ● E線のみアジャスターが付属している場合

4(G)弦、3(D)弦、2(A)弦は、テールピースの穴に弦のボールエンドを引っかけて固定します。



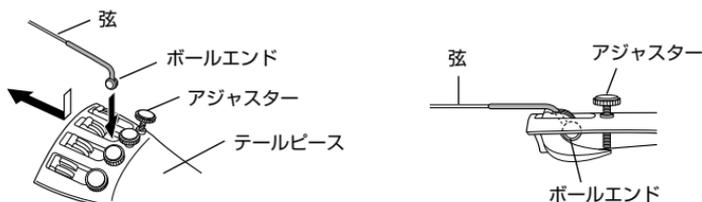
1(E)弦は、テールピースのE線アジャスターに弦のボールエンドを引っかけて固定します。



## 弦の交換

### ● アジャスター内蔵型テールピースの場合

テールピース部のアジャスターに弦のボールエンドを引っかけて固定します。



### ■ 糸巻への弦のセット方法

弦を糸巻の穴に通し、それぞれ図 A の方向に糸巻を回して弦を張ります。糸巻は押し込みながら回します。

### ■ 駒のポジションの確認

弦の交換や調弦の際、駒のポジションおよび角度に注意してください。(図 B)

図 A

2 巻き内側に巻いてから折り返して巻く

2 巻き内側に巻いてから折り返して巻く

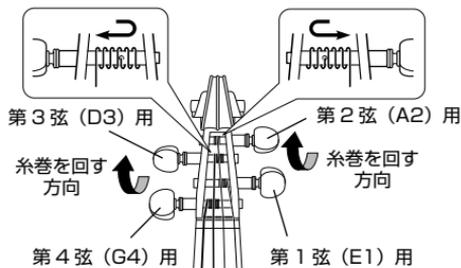
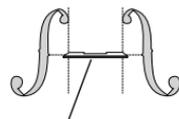
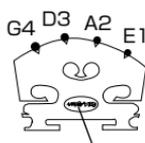


図 B

それぞれの弦が駒の溝に収まっていること

左右の f 字孔の溝を目安に、下図の位置に駒を立てる



印字されている面がテールピース側

駒のテールピース側の面が表板に対して垂直になるように、駒を立てます。

